

11. 国際競技大会への代表選手団等の派遣

(1) 第14回アジア競技大会

韓国・釜山市タジック総合運動場テニスコートに於いて、平成14年9月30日～10月7日まで行われた標記大会に次の選手団を派遣した。

ア. 選手団

団長	横江 忠志(強化委員長)
総務	北本 英幸(小松市立高等学校教諭)
男子監督	神崎 公宏(男子ナショナルチーム監督)
コーチ	大橋 元司(男子ナショナルチームコーチ)
選手	中堀 成生(NTT西日本中国) 高川 経生(NTT西日本中国) 小峯 秋二(富山県西部体育センター) 三石 康人(枚方信用金庫) 渡邊 彦継(高田商業高校職員)
トレーナー	川上 晃司(スポーツインテリジェンス)
女子監督	大野美紗子(女子ナショナルチーム監督)
コーチ	若梅 明彦(女子ナショナルチームコーチ)
選手	玉泉 春美(東芝姫路) 上嶋 亜友美(東芝姫路) 水上 志乃(NTT西日本中国) 八谷 志帆(NTT西日本中国) 辻 美和(東芝姫路)
トレーナー	梶山 祥子(よねざわ整形外科クリニック)

イ. 参加国(地域)

日本、中国、中華台北、韓国、モンゴル、フィリピン、ネパール

ウ. 成績

男子団体2位 中堀 成生・高川 経生・小峯 秋二・三石 康人・渡邊 彦継
女子団体2位 玉泉 春美・上嶋 亜友美・水上 志乃・八谷 志帆・辻 美和
男子ダブルス5位 中堀 成生・高川 経生組
女子ダブルス2位 水上 志乃・八谷 志帆組
4位 玉泉 春美・上嶋 亜友美組
男子シングルス4位 中堀 成生
6位 小峯 秋二
女子シングルス4位 水上 志乃
混合ダブルス5位 高川 経生・玉泉 春美組

(2) 第10回日・韓・中ジュニア交流競技会

日本・熊本市で8月24日～28日まで行われた標記大会に、次の選手団を派遣した

団 長 朝 倉 文 人(全国高体連部長)
 男子監督 北 本 英 幸(小松市立高等学校教諭)
 選 手 小 林 幸 司・北 見 和 大(岡山理科大附)
 飯 屋 園 淳(岡山理科大附)・古 賀 崇 史(高田商業)
 玉 置 雄 基(和歌山北)・林 完 渡(北海道尚志学園)
 女子監督 渡 部 政 治(立志館広島高校教諭)
 選 手 長 奈 津 子・中 川 佳 奈 美(立志館広島)
 竹 内 志 津・齊 藤 理 沙(高田商業)
 有 田 杏 実・井 上 智 香 子(信愛女子短大附)
 成 績 男子 2 位
 女子 1 位

(3) 第 2 回チャイニーズカップ国際ソフトテニス大会(上海)

中国ソフトテニス連盟主催の第 2 回チャイニーズカップ国際ソフトテニス大会が一昨年度の北京(昨年度は中止)に続き本年度は 8 月 5 日から 7 日まで上海市で開催された。この大会には、ナショナルチーム・ジュニアナショナルチームの中より、将来有望な若手選手を派遣する予定であったが、本年度は大会日程の関係で高校生・大学生が出場できず、社会人の若手選手を中心に選手団を編成した。参加国は日本・中国のほか、フィリピン・カザフスタン・キルギスタンであった。

団 長 西 村 信 寛(理事・国際委員長)
 渉外・コーチ 内 藤 享 佑(国際委員)
 コ ー チ 大 野 美 紗 子(女子ナショナルチーム監督)
 男子選手 松 原 豊 広(奈良・高田商OBクラブ) 川 西 佑 治(大阪・枚方信用金庫)
 渡 海 聡(和歌山・和歌山県庁) 西 村 友 一(大阪・枚方信用金庫)
 石 川 洋 平(愛知・東邦ガス) 豊 田 雅 孝(愛知・東邦ガス)
 女子選手 金 智 恩(富山・タカギセイコー) 上 嶋 亜 友 美(兵庫・東芝姫路)
 寺 崎 希 恵(香川・NTTドコモ四国) 松 村 陽 子(兵庫・東芝姫路)
 武 元 望 美(東京・ナガセケンコー) 福 田 香 織(東京・ナガセケンコー)
 成 績 男子団体 優勝
 女子団体 優勝
 男子ダブルス 優勝 松原・川西組 2位 渡海・西村組
 男子シングルス 優勝 渡海 聡 3位 松原 豊 広
 女子ダブルス 優勝 金・上嶋組 2位 寺崎・松村組
 3位 武元・福田組
 女子シングルス 優勝 金 智 恩 2位 寺崎 希 恵
 3位 上嶋 亜 友 美

12. 国際普及の促進に関する事業

(1) 海外長期滞在指導者を派遣

平成 13 年 10 月に施行された「指導者の海外派遣に関する規定」にもとづき、イタリア連盟からの要請により、平成 14 年 2 月から森永 操さん(佐賀県、日体大卒)をイタリア・ローマに派遣したが、平成 14 年度も引き続き現地に滞在しイタリア連盟の全面的な協力のもとにローマおよびその近郊の中学校での授業を中心にジュニアへのソフトテニスの指導と普及にあたった。また、本年度は更に海外滞在中の松本雅男氏(カナダ・トロント市滞在)、武井紀明氏(インドネシア・ジャカルタ市滞在)を派遣指導者として認定した。

(2) イタリア・ローマからジュニアチーム来日

昨年度に続き、イタリア・ローマを中心とするジュニアチームが 4 月 2 日から 9 日まで来日した。本年度来日したのは、チボリ・バッチェリ中学校の生徒 8 名のほか、カステルランドフォルダントアリヒリ中学校の生徒およびローマ・ラツィオクラブメンバー 8 名の合計 16 名と 5 名の引率者で総勢 21 名が昨年ローマに派遣した桐田中学校(八王子市)、大栄中学校(千葉県大栄町)の生徒宅にホームステイするなどして、日本の中学生とソフトテニスを通じて交流を深めるとともに、ソフトテニスの研修を行った。

(3) 海外からのソフトテニス研修生(指導者候補者)来日

本年度普及を強化しているヨーロッパ各国からソフトテニスの研修生(指導者候補者)が次のとおり来日し、日本の受入先関係者から熱心に指導を受け、それぞれの研修の成果を挙げて帰国した。

ア.スコットランド シャロン・ベネット 5月21日～6月10日
ナガセケンコー、慶応義塾大学、神戸松蔭女子学院大学で研修

イ.イングランド ロバート・スミス 6月21日～7月22日
慶応義塾大学ソフトテニス合宿所に滞在し、同大学で研修

ウ.ハンガリー ルカツ・マルタ夫妻 10月21日～11月7日
大栄中、日体大、文大杉並高、東京小学生研修会、大磯中、伊勢原高、十一会、浦安レディスクラブなど各所で視察および研修

(4) スコットランド・グラスゴー市にジュニアチームを派遣

本年度ソフトテニス連盟を設立したスコットランド連盟からの要請で、7月30日から8月4日までジュニアチームを派遣し、グラスゴー市を中心にソフトテニスのデモンストレーションと研修会を行った。市をあげてのスポーツイベントである、グラスゴーワールドシリーズにもソフトテニスを取り入れられ、現地との交流をかねて指導を行った。

(5) イタリア(ローマ)・ハンガリー(ブタペスト)・ドイツ(フランクフルト)にジュニアチームを派遣

昨年に引き続き本年度も中学校生徒 16 名(桐田中、瑞穂中、大磯中、大栄中、各男子 2 名、女子 2 名)および引率者 6 名を 9 月 15 日から 26 日までヨーロッパに派遣した。一行は 16 日から 20 日まではローマに滞在して中学生宅にホームステイなどにより、ローマ、カステルガンドルフォ、チボリなどの中学校生徒とソフトテニスを行い、普及と交流を行った。その後、桐田中と瑞穂中はドイツ(フランクフルト)、大磯中と大栄中はハンガリー(ブタペスト)にソフトテニスの普及のため初めて赴き、デモンストレーションとセミナーを行い、一旦ローマに戻った後 26 日に帰国した。

- (6) モンゴル共和国における8面のソフトテニスコート建設を支援
モンゴルソフトテニス連盟の要請にもとづき各支部におよび有志の協力を得て、モンゴルウランバートル市における8面のソフトテニス建設を支援し、8月に完成した。
- (7) 第15回アジアシニアソフトテニス選手権大会開催に協力
日本の宝塚市で11月16日・17日の両日、第15回アジアシニアソフトテニス選手権大会が開催され、開催国としてこれに協力した。
- (8) 用具・用品の支援
次の各国にラケット・ボールの支援を行った。

ラケット	フィリピン・スコットランド・インド・スイス・オランダ・アメリカ ドイツ・ハンガリー・チェコ・イタリア・カタール・ジンバブエ・タイ
ボ ー ル	フィリピン・スコットランド・インド・スイス・オランダ・アメリカ ドイツ・ハンガリー・チェコ・イタリア・カタール・ジンバブエ・タイ マカオ・中国・カナダ・韓国・モンゴル・中華台北

13. 国際大会の開催促進に関する事業

- (1) 第3回東南アジアソフトテニス選手権大会開催を支援
6月23日から30日までフィリピン・マニラ市において第3回東南アジアソフトテニス選手権大会が開催され、フィリピン連盟からの要請を受け、用具等の提供および東南アジア各国への参加呼びかけなどこれを支援した。
- (2) タイランドオープンソフトテニス国際大会(東南アジア)開催および東南アジアソフトテニス連盟新体制発足に協力・支援
11月9日・10日の両日、タイソフトテニス連盟の主催でタイ・プーケット市で東南アジア地域の国際大会が開催され、タイ連盟からの要請を受けて、用具・スポンサーの確保および東南アジア各国への参加呼びかけなど、これを支援した。また、この大会期間中、11月9日に開催された東南アジアソフトテニス連盟の総会に西村アジア連盟事務総長、内藤(享)国際委員がオブザーバー出席し、新規約制定および新役員体制の発足に協力した。
- (3) 2005年マカオ東アジア競技大会ソフトテニス競技実施を要請
2005年の東アジア競技大会におけるソフトテニス競技の実施を要請するため、1月13日に西村アジアソフトテニス事務総長、内藤(享)国際委員がマカオの東アジア競技大会組織委員会を訪問し、関係者にソフトテニスの実施要項を説明し、実施を要請した。